

京都事業所には 時計が無い！！

サービック京都事業所では2月6日から時計が撤去されました。本体のJR東海の指示により撤去されたそうです。

サービック京都事業所は、京都駅を利用されるお客様の改札・出札業務、車椅子のサポート業務、お客様の案内・遺失物業務を行っています。したがって、時刻と列車の発車・到着時刻を確認し業務を行うため時計が無いと仕事になりません。

京都事業所の北山副所長に何度も早く設置するように言っても「注文している」と答えるのみで、時計の納期についてはわからないの一点張りです。時計が撤去されてから、3週間が経ちましたがサービック京都事業所内の職場には、時計が一つも設置されていないのです。今は、撤去された2月6日の2日後に社員個人が壁掛け時計2個とデジタル時計1個を持ってきて業務を行っています。

サービック京都事業所の澤田所長は、車掌、運転士を経験し岐阜羽島駅や小田原駅の駅長を歴任して昨年7月に京都事業所にきました。したがって、時間管理の重要性や安全管理を十分にわかっているはずですが、しかし、未だに時計が無く無関心でほったらかしにされているのです。

高い時計を買えとは言いません。普通に時間が見やすく正確な時計の設置を要求します。

**時計無しでは厳正な時間管理
・旅客への対応は不可能だ！！**

